

平成 29 年度再評価対象事業箇所
(対象：平成 24 年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済 情勢等の変化	費用対効果 の要因の変化	CO2削減や代替案 等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)
	再評価 時点 H24	道路整備交付金 事業(社会資本 整備総合交付 金) 一般県道嬉野下 宿塩田線(下宿 工区) 事業主体：県 事業地：嬉野市 嬉野町下宿	本路線は、嬉野市嬉野町 と嬉野市塩田町を結び、長 崎自動車道嬉野 IC への アクセス道路として、地域 間の交流や物流促進が期 待される重要な道路であ る。 本計画区間を整備する ことで、嬉野市塩田町方面 から嬉野 IC へのアクセ ス性の向上と嬉野市街地 を通る国道 34 号の交通 の円滑化を図るとともに、 歩道整備により、周辺に存 する嬉野中学校の生徒や 地域住民の交通安全の向 上にも寄与するものであ る。	全体事業費：20.8億円 工期：H15～H28 事業内容： 延長 L=1,970m 幅員 W=6.5(15.0)m 改良工 L=1,970m 舗装工 L=1,970m 測定 1式 用地補償 1式	H23未進捗率：約46% (事業費ベース) (年平均進捗率5%) 用地補償契約 約98%	・嬉野市への観光客数は増 加傾向にあり、嬉野 IC へ のアクセス道路の整備に より利便性の向上が期待 される。 ・九州新幹線西九州ルート の開業に伴い、近傍に嬉野 温泉駅(仮称)が整備され ることから、駅を中心とし た新たな市街地形成が図 られる。	事業採択時と 比較して大きな 要因の変化は見 られない。 B/C = 2.94	(CO2削減) ・再生資材の利用 促進を図ってい る。 ・工事で発生する 残土を盛土等に流 用する。 (代替案の検討) ・特になし	着手より10年経 過のため再評価	継続 (理由) 事業の必要 性に変化がな い。 現在も、依然 として交通の 円滑化と交通 安全の確保が 出来ていない 事から、引き続 き事業を継続 したい。
	現時点	同上	同上	全体事業費：24.7億円 工期：H15～H31 事業内容： 延長 L=1,970m 幅員 W=6.5(15.0)m 改良工 L=1,970m 舗装工 L=1,970m 測定 1式 用地補償 1式	H28未進捗率：約73% (事業費ベース) (年平均進捗率5%) 用地補償契約 100%		全体事業費増 額と工期延伸に よる費用便益費 の減 B/C = 2.06	同上	再評価実施後 5 年が経過のため 再評価	継続 (理由) 当該事業箇 所はバイパス による整備で あるため、整備 効果を発現す るためには、事 業の継続が必要 である。 当該箇所の 事業の必要性 に変化がなく、 交通の円滑化 と交通安全を 図るため、事業 を継続したい。
	理由等				・切土法面の変状発生に よる対策工法の検討及 び施工に伴う工事費の 増及び工期の延伸。 ・建設発生土の運搬距離 延伸による工事費の増。 ・施工時の騒音対策に係 る地元調整に時間を要 したことによる工期の 延伸。					

